

■ TFシリーズ新機能追加一覧（V3.00～）

バージョン	追加機能	補足説明	関連項目
V4.50	・チャンネルライブラリーの初期QuickPro Presetsに、Audixマイクプリセットを追加しました。	*本バージョンにアップデートしたあと、「Initialize All Memory」を実行するとライブラリーリストに追加されます。	QuickPro Presets
V4.00	・OVERVIEW画面にSelected Channelセクションを追加しました。各チャンネルの主な音作りをひとつの画面でできるようになりました。Selected Channelセクションを表示するには、PREFERENCE画面の[HOME] Keyで「Selected Channel」をオンにしてください。		
	・シーンのFADE TIME機能を追加しました。	*シーンリコール中に、TF5/TF3/TF1のフェーダーや画面の挙動が内部数値の遷移に追従しないことがあります。実際の音声出力(音量)は内部数値に追従して連続的に変化します。	
	・チャンネルを自由にアサインできるミュートグループ3～6を追加しました。チャンネルのアサインはSETUP画面→MUTE GROUP ASSIGN画面、または各チャンネルのASSIGN画面で設定します。		
	・リコールセーフパラメーターの「On」と「Fader」を個別に設定できるようになりました。		
	・SEND FROM画面のメニューにCopy/Pasteを追加しました。選択しているAUX/MATRIX/SUBチャンネルのSENDレベルをコピー/ペーストします。		
	・AUX/MATRIX/SUBチャンネルのメニューに、CH Copy with Sends/CH Paste with Sendsを追加しました。		
	・AUTOMIXER画面にグループバイパス機能を追加しました。		
	・PREFERENCE画面に機能を「補足説明」のとおり追加しました。	・Auto Channel Selectセクションに「[SEND SEL]>[CUE] Link」を追加しました。オフに設定すると、SENDS ON FADERキーの選択にセンドマスターのCUEが追従する従来の機能が無効になります。	
		・Key Functionセクションを追加しました。	
		・[HOME] Keyに「Selected Channel」を追加しました。	
	・USER DEFINED KEYSとFOOT SWITCHに割り当てできる機能を追加しました。	・AutomixerのGroup Bypassと各チャンネルのオン/オフ	
		・Mute MasterのMUTE GROUP3～6	
	・ST IN 1/2チャンネルに、チャンネルディレイを追加しました。		
	・クイックコンフィグ機能で接続されたDZR-Dシリーズ/DXS-XLF-Dシリーズのミュート操作機能をSLOT SETUP画面に追加しました。	*この機能を使用するために、DZR-Dシリーズ/DXS-XLF-DシリーズはV1.1.2以降のバージョンをご使用ください。また、同じDanteネットワークに接続するTFはすべてV4.0にバージョンアップしてください。	
	・EQとGEQで、[SHIFT]キーを長押しすると、選択中のバンドのゲインがノミナル(0.0dB)になる機能を追加しました。		
	・GEQで、[TOUCH AND TURN]ノブの操作対象を、ゲインと周波数とで交互に切り替える機能を追加しました。[SHIFT]キーを押す、または[TOUCH AND TURN]ノブを押すことで切り替えできます。		
	・チャンネルライブラリーの初期プリセットを追加しました。また一部データを変更しました。	*本バージョンにアップデートしたあと、「Initialize All Memory」を実行すると変更が反映されます。	

V3.60	・クイックコンフィグ機能で、パワードスピーカーシステムDZRシリーズ、パワードサブウーファーシステムDXS-XLFシリーズのDanteモデルを自動的にDante接続できるようになりました。		
	・Dante Domain Manager (DDM)に対応しました。	*TFシリーズがDante Domain Managerによってドメインに登録されると、クイックコンフィグはオフになります。	
	・PREFERENCE画面に「RTA Offset」機能を追加しました。これによって、EQ画面、GEQ画面のRTAの感度を調整できるようになりました。		
	・[USER DEFINED KNOBS]で操作できる機能に「RTA Offset」を追加しました。		
	・NETWORK画面にDHCPからアドレスを再取得できる「Refresh」ボタンを追加しました。		
V3.50	・CH1～CH8にDugan Automixerを追加しました。	*V3.11以前のTFシリーズで保存されたシーンには、Automixerに関連するパラメーターが含まれていません。そのため、リコールしてもパラメーター値が変更されません。	
	・AUXセンドをPreに設定したチャンネルのセンドポイントを、Pre EQかPre Faderかで選択できる機能を追加しました。		
	・OUTPUTチャンネルのMonitor DelayとFXのOUTPUT DELAYにあるDelay Timeパラメーターの設定単位に、「フレーム(frame)」を追加しました。		
	・MONITOR/CUE画面にPFL Trimの設定を追加しました。		
	・MATRIX1/2バス、MATRIX3/4バスの組み合わせでステレオペアの設定を追加しました。		
	・RECORDER画面で、録音ソース選択にMTRX1/2、MTRX3/4を追加しました。		
V3.10	・オーディオネットワークの相互接続規格「AES67」に対応しました。	*NY64-Dのファームウェアを「3.10.0.19-4.0.3.1-1.3.4」(tf_firm310.zipに同梱)以降にアップデートしてください。	AES67接続ガイド
	・Dante Device Lockに対応しました。	*NY64-Dのファームウェアを「3.10.0.19-4.0.3.1-1.3.4」(tf_firm310.zipに同梱)以降にアップデートしてください。	
V3.00	・ユーザーアカウントによるアクセス制限の機能を追加しました。		
	・OVERVIEW画面にFADERセクションを追加しました。	・FADERセクションの表示はPREFERENCE画面から設定します。	
	・[USER DEFINED KEYS]で操作できる機能に、「EQ Band Select」を追加しました。		
	・[USER DEFINED KNOBS]で操作できる機能を「補足説明」のとおり追加しました。	Selected CH: EQ Band Select Selected CH: Digital Gain Selected CH: Send Level (FX, AUX, SUB) CH Select、CH Level	
	・BRIGHTNESS画面に「Power Saving Mode」を追加しました。	無操作で設定した時間を経過すると、画面やインジケータを暗くする機能です。	
	・STEREO/SUB Level Linkに、差分を維持したままリンク動作する機能を追加しました。	*差分にあたるオフセット値もシーンメモリーに保存されます。V2.50以前のTFシリーズで保存されたシーンにはオフセット値が含まれていないので、そのシーンをリコールしてもオフセット値はリコール前のまま変更されません。	
	・AUX9/10～AUX19/20からSUBバスへのセンドを追加しました。		

	・ FX1/FX2チャンネルにSEND FROM画面を追加しました。		
	・ ツールバーのメーターにMatrix1-4を追加しました。		
	・ チャンネルライブラリーの初期Presetに、新規Presetを追加しました。		
	・ 本バージョンにアップデートしたあと、「Initialize All Memory」を実行するとライブラリーリストに追加されます。		